



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ

上場取引所 東

コード番号 4360 URL <https://mcps.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 財務室長 (氏名) 吉田 誠吾

TEL 03-5931-0554

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日 2022年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,104		322		474		383	
2022年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 317百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	48.32	
2022年3月期第2四半期		

(注) 当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,209		10,587			74.5
2022年3月期	13,585		10,293			75.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,587百万円 2022年3月期 10,293百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				7.50	7.50
2023年3月期		7.50			
2023年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期末の実績はありません。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	9.3	700	5.4	790	10.3	550	22.8	69.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,625,000 株	2022年3月期	8,625,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	682,583 株	2022年3月期	711,583 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	7,934,051 株	2022年3月期2Q	株

(注)当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は2021年10月1日に単独株式移転によりマナック株式会社の完全親会社として設立されたため、前年同四半期実績比較は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展による行動制限の緩和等により緩やかな回復基調で推移しましたが、依然として新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立たず、先行き不透明な状況が続きました。世界経済につきましては、ウクライナ情勢の緊迫化、原材料・燃料エネルギー等の価格高騰、為替変動等先行きの不透明感が高まりました。

このような環境の下で当社グループは、国内外の市場における顧客への取引深耕にグループが一体となり積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,104百万円、営業利益は322百万円、経常利益は474百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は383百万円となりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2023年3月期第2四半期	5,104	322	474	383
(ご参考) 2022年3月期第2四半期	4,869	226	316	246

(ご参考) 2022年3月期第2四半期実績は、マナック株式会社として公表した数値であります。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、電子材料製品や工業薬品等は安定した需要を維持いたしました。一方で、連結子会社である八幸通商株式会社における一部製品は需要が減少いたしました。

その結果、売上高は1,653百万円、セグメント利益は314百万円となりました。

## ②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、昨年来の原燃料価格等の高騰はあったものの、電子材料部材や家電製品に使用されるプラスチック用難燃剤等の需要は堅調に推移いたしました。また、円安による為替の影響も追い風になりました。

その結果、売上高は2,845百万円、セグメント利益は670百万円となりました。

## ③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、各種原材料価格の高騰はあったものの、主力の人工透析用原料は安定した国内需要を維持いたしました。また、広島大学と共同開発(特許取得)し製品化した固定化抗菌剤「E t a k®」の需要は落ち着いてまいりました。

その結果、売上高は605百万円、セグメント利益は21百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて624百万円増加し、14,209百万円となりました。これは主に、今後の生産及び販売に備え棚卸資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて330百万円増加し、3,621百万円となりました。これは主に、原材料仕入等により買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて294百万円増加し、10,587百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,044	2,621
受取手形及び売掛金	3,684	3,364
電子記録債権	304	315
商品及び製品	1,098	1,577
仕掛品	343	503
原材料及び貯蔵品	576	933
その他	382	127
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	8,432	9,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	645	625
機械装置及び運搬具(純額)	1,164	1,088
土地	906	906
建設仮勘定	76	67
その他(純額)	170	157
有形固定資産合計	2,963	2,845
無形固定資産	231	216
投資その他の資産		
投資有価証券	1,657	1,418
繰延税金資産	65	82
その他	235	204
投資その他の資産合計	1,958	1,705
固定資産合計	5,153	4,768
資産合計	13,585	14,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,925	2,266
短期借入金	291	303
未払法人税等	36	115
賞与引当金	165	170
その他	781	714
流動負債合計	3,199	3,569
固定負債		
役員退職慰労引当金	7	—
繰延税金負債	51	23
その他	32	29
固定負債合計	91	52
負債合計	3,291	3,621
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	3,465	3,459
利益剰余金	6,865	7,188
自己株式	△517	△474
株主資本合計	10,113	10,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	109
繰延ヘッジ損益	△1	△7
為替換算調整勘定	6	12
その他の包括利益累計額合計	179	113
純資産合計	10,293	10,587
負債純資産合計	13,585	14,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,104
売上原価	3,898
売上総利益	1,206
販売費及び一般管理費	883
営業利益	322
営業外収益	
受取利息及び配当金	22
為替差益	18
助成金収入	56
保険解約返戻金	32
その他	22
営業外収益合計	153
営業外費用	
その他	1
営業外費用合計	1
経常利益	474
特別利益	
固定資産売却益	0
投資有価証券売却益	48
特別利益合計	48
特別損失	
固定資産除却損	2
特別損失合計	2
税金等調整前四半期純利益	520
法人税、住民税及び事業税	150
法人税等調整額	△12
法人税等合計	137
四半期純利益	383
親会社株主に帰属する四半期純利益	383

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	383
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△66
繰延ヘッジ損益	△5
為替換算調整勘定	6
その他の包括利益合計	△66
四半期包括利益	317
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	317



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	520
減価償却費	240
賞与引当金の増減額(△は減少)	4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7
受取利息及び受取配当金	△22
支払利息	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△48
有形固定資産除売却損益(△は益)	1
助成金収入	△56
売上債権の増減額(△は増加)	311
棚卸資産の増減額(△は増加)	△996
仕入債務の増減額(△は減少)	333
その他	85
小計	366
利息及び配当金の受取額	22
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△72
助成金の受取額	56
営業活動によるキャッシュ・フロー	372
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△117
有形固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	△0
投資有価証券の売却による収入	413
その他	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	300
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	12
長期借入金の返済による支出	△1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2
配当金の支払額	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	581
現金及び現金同等物の期首残高	2,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,621

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,653	2,845	605	5,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,653	2,845	605	5,104
セグメント利益	314	670	21	1,005

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,005
全社費用(注)	△682
四半期連結損益計算書の営業利益	322

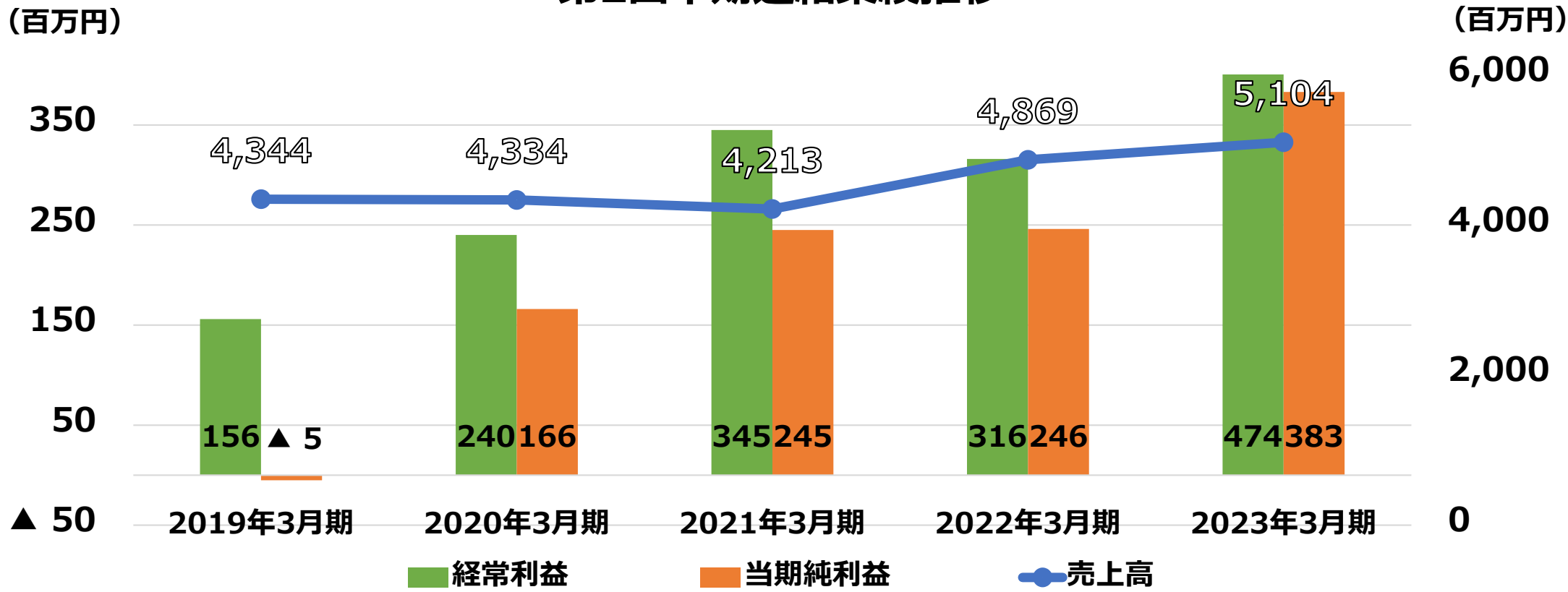
(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。



MCPs

# 2023年3月期 第2四半期の業績状況 (連結)

## 第2四半期連結業績推移

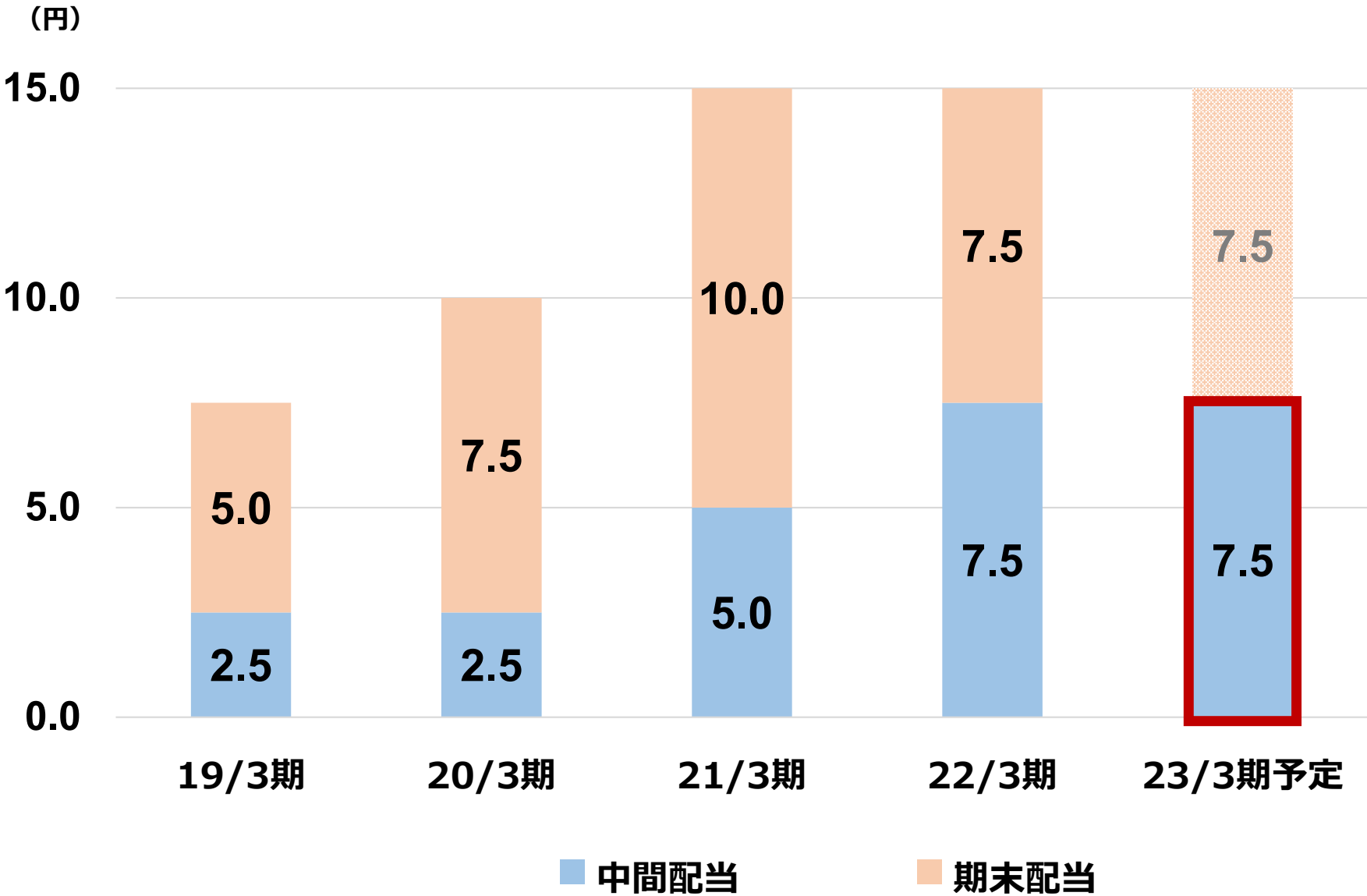


2022年3月期 第2四半期の業績状況といたしましては、原材料及び燃料の高騰があったものの、難燃剤事業の需要が堅調に推移、円安による為替の影響も追い風になりました。またファインケミカル事業・ヘルスサポート事業においても、電子材料関連製品や人工透析用原料につき安定需要を維持いたしました。これらの要因により前年同期と比較し増収増益となり、2022年5月13日公表の通期連結業績予想を達成できる水準と考えています。

※2022年3月期 第2四半期の業績はマナック株式会社の数値であります。



# 2023年3月期 配当の状況



※2022年3月期 第2四半期末までの配当実績はマナック株式会社の数値であります。  
※2023年3月期 期末配当は予想値であり、2022年5月13日公表値からの変更はありません。